

目標1 魅力あふれる地域の創出

目標1-1 活力ある地方の創生

～地域の個性を磨き、すべての人が活躍し助け合う地域をつくる～ P1～2

- (1)人を惹きつける固有の魅力創発
- (2)地域を支える人材の育成・確保
- (3)安心して暮らせる社会の形成
- (4)観光・交流の促進による地域力向上
- (5)地域産業の活性化による地域力向上
- (6)多様な主体による共助社会づくり

目標1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

～生活の利便性を高め、
豊かさが隅々まで行き渡る地域生活圏を形成し地域力を向上する～ P3

- (1)誰一人取り残さないためのデジタルの徹底活用とリアルとの融合
- (2)持続可能な生活圏の形成
- (3)快適で安全・安心な生活環境の構築
- (4)官民共創の推進と関係人口の拡大・深化

目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

目標2-1 ものづくりの高付加価値化と

新産業の創出による産業の強化

～世界に誇るものづくり技術を礎に、
クリエイティブな仕事、イノベーションを生み出す地域となる～ P4

- (1)高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
- (2)新たなビジネスモデルの展開による付加価値の創出

目標2-2 持続可能な産業の構築

～脱炭素化で世界をリードするとともに、
レジリエンスの向上による持続可能な産業構造への転換を図る～ P5～6

- (1)国際競争に優位性を発揮する産業構造の転換と基盤強化
- (2)中部圏の戦略産業の強化
- (3)中堅・中小企業の振興
- (4)環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化
- (5)産業を担う人材の育成・確保

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

～日本中央回廊の中心として、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり、
我が国の成長を牽引する拠点となる～ P7～8

- (1)日本中央回廊の効果の最大化 ～日本のハートランド・中部～
- (2)リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造
 - ①国際競争力のある新たな圏域構造への転換
 - ②リニア名古屋駅を核とした圏域づくり
 - ③リニア中間駅を核とした地域づくり
 - ④東海道新幹線沿線エリアの新たなポテンシャルを活かした地域づくり
- (3)交通ネットワーク強化による広域的波及
- (4)国際大交流時代を拓く観光・交流
 - ①国際交流の窓口の機能強化
 - ②国内外の観光・交流の促進
 - ③中部圏・北陸圏の国際的な広域周遊ルート強化
 - ④クルーズの振興、普及

目標4 恵みの活用、国土の強靱化

目標4-1 魅力ある地域資源の保全・活用

～3,000m級の山々、川、海の恵みを楽しみ、保全活用する～ P9

- (1)自然環境と健全な生態系の保全・再生
- (2)カーボンニュートラルの実現による持続可能な地域づくり。
- (3)適切な国土保全
 - ①健全な循環型国土の構築
 - ②物質循環の安定的確保による地域循環圏の形成
 - ③人口減少化における国土の利用、管理

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応

～南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、
感染症などのリスクから地域をまもる～ P10～11

- (1)南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築
- (2)頻発化、激甚化する自然災害とあらゆるリスクへの対応
 - ①自然災害等へ対応
 - ②都市の防災・災害対策の推進
 - ③産業の防災力強化
 - ④広域的な連携による支援体制の強化
- (3)ネットワークの多重性・代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化
- (4)インフラの維持・整備・活用
 - ①戦略的なメンテナンスの推進
 - ②地域の守り手としての建設業の強化

目標1-1 活力ある地方の創生【地域の個性を磨き、すべての人が活躍し助け合う地域をつくる】

- ものづくりや自然環境、歴史・文化などの地域資源を活かし、人を惹きつける固有の魅力を創発
- 地域を支える人材を育成・確保し、誰もが安心して暮らせる社会を形成
- 観光・交流と地域産業を活性化することで地域力を向上
- 全ての人々が活躍し助け合う多様な主体による共助社会をつくり、QOLの高い魅力あふれる社会を目指す

(1) 人を惹きつける固有の魅力創発

- ・ クリエイティブで新しいことをやりたい人たちが魅力を感じるような、QOLの高い地域づくりと、国際文化交流を推進する
- ・ 歴史の中で培ってきた伝統・文化、地域の個性・アイデンティティを考慮し、おしゃれで楽しいと感じられる地域を形成する



あいち朝日遺跡ミュージアムの運営
【愛知県提供資料】

(2) 地域を支える人材の育成・確保

- ・ デジタルで代替できないエッセンシャルワーカーの収益力を高め、雇用を維持・拡大し、持続可能なサービス提供を確保する
- ・ 地域づくりに多様なノウハウを有する地域リーダー、クリエイティブな人材やデジタル人材、地域づくり活動を実践する様々な役割を担う人材の発掘・育成を図る
- ・ 企業や大学等と圏土全体の連携を通じ、地域を支える人材育成を推進する
- ・ 知性や感性を高める学びの充実、郷土の学習など、教育の充実を図る



「ワーケーション推進事業」モデル実証事業
【静岡県提供資料】

(3) 安心して暮らせる社会の形成

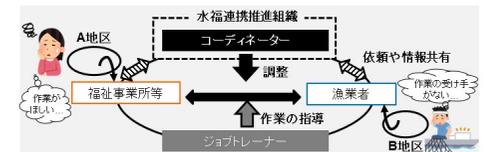
- (こども・若者・女性活躍)
 - ・ 結婚、妊娠・出産、子育てなどライフステージに応じた支援を図る
 - ・ 女性、若者、高齢者、外国人等様々な人材が活躍・共生できる教育環境の充実を図る
- (医療・福祉・高齢者・障害者・生活困窮者)
 - ・ 障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す
 - ・ 医療人材を確保・育成し効率的で質の高い医療の持続的な提供を図る
 - ・ ライフステージに応じた健康づくりなど、健康施策の充実を図る
 - ・ 会社等を退職後の65歳を過ぎてから郷土に戻る選択肢を増やす取組が必要
 - ・ 8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーなどに対し、包括的な支援、自殺対策等を図る



外国人モニターによる外国人観光者受入環境の検証
【中部運輸局提供資料】



- (外国人)
 - ・ 外国人が働きがいを持ち、共生できる社会を実現できる、多文化共生社会を促進する
- (防犯)
 - ・ 地域コミュニティを活かし、治安・防犯、再犯防止に向けたまちづくりを進める



事業の効果 地域を越えた作業委託や福祉事業所の水産業への参入に係るマッチングが推進され、新たな水福連携による障がい者の働き場が拡大し、漁業現場における労働力を確保。

目標1-1 活力ある地方の創生【地域の個性を磨き、すべての人が活躍し助け合う地域をつくる】

(4) 観光・交流の促進による地域力向上

(地域観光の付加価値向上)

- 旅行者の利便性向上及び周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化を目指す
- 世界に誇る観光地域を形成する司令塔となる観光地域づくり法人(DMO)を形成・強化する
- キャッシュレス決済やMaaS、デジタルマーケティングなど、観光業のDX化を図る



国選定重要伝統的建造物群保存地区
左:高山の古い町並(岐阜県高山市)、右:妻籠宿(長野県南木曾町)
【写真ACより】

(旅行機会の創出等)

- 企業(送り手)と地域(受け手)等とが連携し、新たな旅のスタイルの普及・定着を図り、より長期かつ多くの旅行機会を創出する
- 滞在の長期化、個人消費の増進や、観光旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシーとなる観光資源を開拓する



ユネスコ無形文化遺産 犬山祭(愛知県犬山市)
【写真ACより】

(旅行環境の充実)

- 住民と旅行者が、関係性を深める体験コンテンツ、滞在環境及び移動環境を向上する
- 観光施設や宿泊施設等のバリアフリー化、オーバーツーリズムの未然防止・抑制を図る



River to Summit 日本ライン・KISOGAWA マルシェ
(リバーポートパーク美濃加茂会場)
【木曾川中流域観光振興協議会提供資料】

(5) 地域産業の活性化による地域力向上

- 中堅・中小企業の成長促進や観光業・農林水産業の活性化等を通じて地域産業における稼ぐ力の向上を図り、良質な雇用を創出する
- 高付加価値な商品造成を軸にしたビジネスモデル構築を官民連携で推進する



民間事業者による運営事業の実施(知多半島道路大府PA)
【愛知県提供資料】



オンライン漁師塾「みえ漁師 Seeds」(みえりょうシーズ)の取組
【三重県提供資料】

(6) 多様な主体による共助社会づくり

(共助社会)

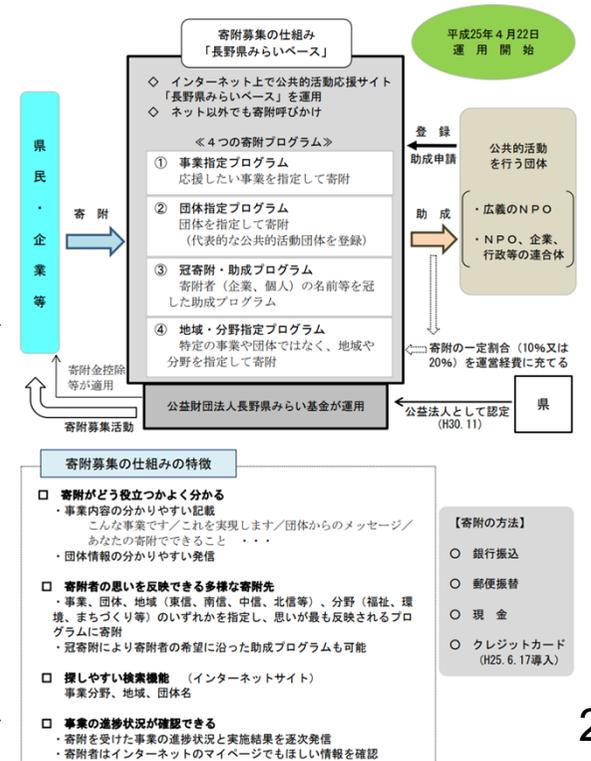
- 共助社会は、公の領域、公共的価値を含む私の領域、公と私の中間的な領域にその活動を広げ、担い手の多様化に対応する

(多様な主体)

- 医療・介護・福祉、まちづくり、見守り、子育て等の日常生活支援サービス産業や、地域の課題を発見して解決するソーシャルビジネスの起業、課題解決型NPO等の育成を図る

(コミュニティの再生)

- これまで地域の人々の協働により担ってきた行事や祭典など、地域や人のつながりを活かし、子育てや介護等をきっかけとして、コミュニティの再生に取り組む
- 地方移住、二地域居住等の促進、若者や子育て世帯が利用しやすい住宅供給を促進し、世代間や関係人口の交流を図る



長野県みらいベース
【長野県提供資料】

目標1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

【生活の利便性を高め、豊かさが隅々まで行き渡る地域生活圏を形成し地域力を向上する】

- デジタル技術を様々な地域や分野で活用することで持続可能な生活圏を形成
- 様々な交通手段を活用し地域の活性化を支援
- 中部圏内外の多様な主体による官民共創の推進と関係人口の拡大・深化

(1) 誰一人取り残さないための

デジタルの徹底活用とリアルとの融合

- ・ 人流・物流をつなげる交通ネットワーク、デジタル技術などを活用し、地域の隅々まで豊かさを実感できる圏域を構築する
- ・ 行政によるデータ整備と民間企業の連携によるオープン・イノベーションを推進
- ・ 中山間地域での生活を支えるため、学生や若者の取組の取り込みなどにより、生活者ベースのGXやDXを推進
- ・ 様々な地域課題の解決に不可欠なデジタル人材の育成・確保

(2) 持続可能な生活圏の形成

- ・ デジタル技術の活用等により、コンパクトなまちづくりと交通ネットワークの充実を図る
- ・ まちの利便性と移動効率を高め、持続可能な地域づくりを実現
- ・ 官民のパートナーシップにより、地域公共交通や買い物、医療・福祉・介護、教育等の暮らしに必要なサービスが持続的に提供される地域生活圏を形成
- ・ 公共空間等を活用したマルシェなど、可動的な空間による賑わい創出といった工夫も重要



オパッタベッタ (小幡緑地) レストラン「マメボシ」
Park-PFIを活用した県営都市公園の魅力向上
【愛知県提供資料】

(3) 快適で安全・安心な生活環境の構築

(地域間の連携促進)

- ・ 広域的な地域生活圏の形成、時間距離の短縮による大都市圏との一体機能化を図る

(移動の快適性)

- ・ 生活の利便性を高め、生活圏内の隅々まで豊かなサービスが享受できるよう、幹線道路から生活道路に至るアクセス性の向上を図る
- ・ 自動運転、MaaSの社会実装や自動化・電動化された輸送システムの導入、デジタル化や先進技術の活用を進め、安全で快適な移動を実現する次世代交通システムを構築

(安心・快適な地域環境)

- ・ グリーンインフラとして多様な機能を有する都市の緑地の確保や民間都市開発等、まちづくりのグリーン化を推進
- ・ デジタル技術を活用した地域防災力の向上



自動運転で走行する車両(ゆっくりカート)

オンデマンド型自動運転送迎サービス
【春日井市HPより】

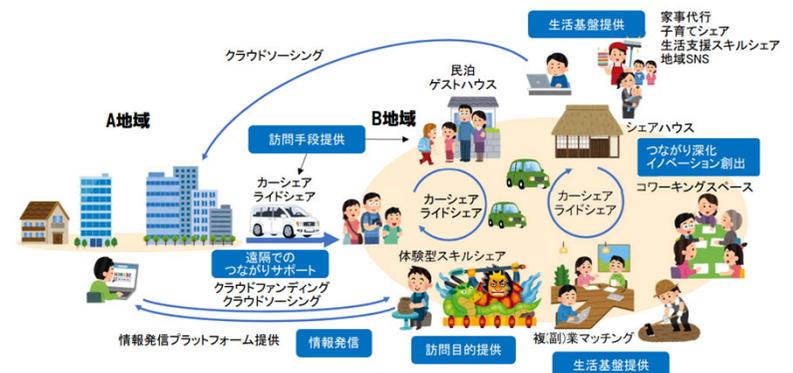
(4) 官民共創の推進と関係人口の拡大・深化

(官民共創の推進)

- ・ 循環型社会の構築に向けて、ライフサイクル全体で廃棄物の発生抑制、循環利用、適正処理を推進

(関係人口の拡大・進化)

- ・ 人々の多様な暮らし方や働き方の実現を後押しする取組と併せ、関係人口の拡大と関わりの深化に向けた取組を進める



地域づくり及び関係人口の拡大・深化におけるシェアリングの活用
【国土交通省国土政策局資料(ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会とりまとめ(スライド集))より】

目標2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化

【世界に誇るものづくり技術を礎に、クリエイティブな仕事、イノベーションを生み出す地域となる】

- 中部圏の高度なものづくり技術の活用により新たな産業を創出
- スタートアップの支援と創出及び既存産業とのマッチング等、産業の高付加価値化・高度化等を推進

(1) 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出

- ・ 企業から選ばれる圏域となるため、イノベーションやまちづくりの推進を担う強靱な人材のパイプラインを築く
- ・ ICT技術などの活用により、ものづくり産業における新たな産業創出を目指す
- ・ 新たな官民連携により研究開発投資を活発化させ社会的投資効果を最大化
- ・ モビリティ産業の世界的中心地であり続けるため、ヒト・モノ・サービスの移動、まちづくり、更にはドローンによるエアモビリティなど、画期的な産学官連携構築を仕掛ける

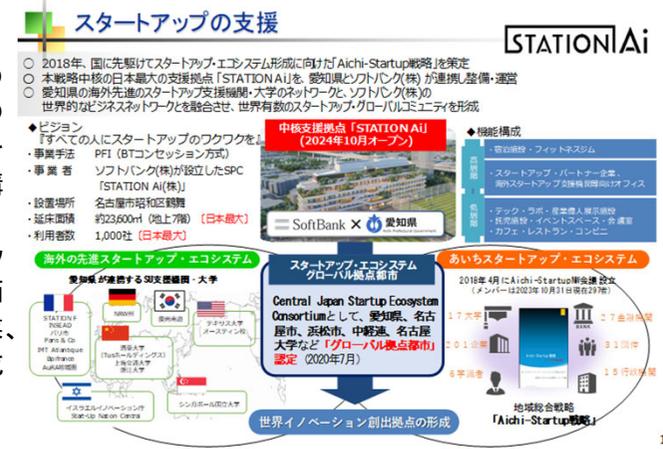


ファルマパレープロジェクトの推進(拠点施設の活用)
【静岡県提供資料】

(2) 新たなビジネスモデルの展開による付加価値の創出

(イノベーション創出)

- ・ 大学や研究機関のシーズとのマッチングや、社会の構造そのものを変えるようなベンチャーをインキュベートする仕組みを構築
- ・ 産学官連携によるスタートアップの創出、ユニコーン(企業価値の高い未上場ベンチャー企業、評価額10億ドル以上)への成長に向けた支援活動を推進



Aichi-Startup 戦略の推進【愛知県提供資料】

(人材育成)

- ・ メンターや先輩起業家による支援により、新規事業やスタートアップの創出を推進するコミュニティの場の形成と機能を強化

(農林水産業)

- ・ 多彩で高品質な農産品や水産品の生産力強化、森林資源の循環利用等を通じた森林・林業・木材産業による「グリーン成長」など、農林水産業の競争力の強化
- ・ 農林水産業の6次産業化等による高付加価値化
- ・ アグリビジネスを展開するとともに、輸入・備蓄を適切に組み合わせ、食糧の安定供給を確保



農産物輸出促進に向けた取組【中部地方整備局資料】



自動運転の実証実験
【愛知県提供資料】

目標2-2 持続可能な産業の構築 【脱炭素化で世界をリードするとともに、レジリエンスの向上による持続可能な産業構造への転換を図る】

- サプライチェーンの強靱化、脱炭素化の強力な推進とエネルギー供給の安定化、南海トラフ地震への備え
- 中部圏の戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興
- 環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化、産業を担う人材の育成・確保

(1) 国際競争に優位性を発揮する産業構造の転換と基盤強化 (2) 中部圏の戦略産業の強化

(産業構造の転換)

- 産業競争力強化・経済成長の同時実現に向けて、GX投資を実現
- 港湾・臨海エリアを起点として、脱炭素燃料の供給拠点や物流機能を含めた圏土の強靱化を図る



アンモニア混焼実証事業が行われる愛知県碧南火力発電所【第三次国土形成計画(全国計画)参考資料より】

(サプライチェーン・エネルギー)

- 巨大災害リスク、経済安全保障の観点も踏まえ、中部圏への生産回帰を促進
- 地産地消による効率的なエネルギー利用、レジリエンス強化等に資する自立・分散型エネルギーシステムの構築を推進

(物流効率化)

- 国際拠点港湾の機能強化、国際基幹航路の維持・拡大、国際拠点空港の機能強化及び空港・港湾の安全性強化
- 港湾、道路の整備やモビリティ産業のイノベーションの促進により輸送効率を向上
- ものづくり産業等の立地競争力や国際競争力の強化を支える陸・海・空の高速交通ネットワークなど産業基盤の拡充・強化を図る

(水の安定供給)

- ダムや導水路等水資源開発施設の運用高度化
- 水資源開発施設の整備や既施設の老朽化対策などによる水の安定供給に取り組む

- 自動車、航空宇宙産業、ロボット産業(医療機器等)、環境産業などの更なる進化
- 水素やアンモニアの中部圏での大量で安定的な供給・利用が可能な生産・受入拠点整備の実現
- EV、PHVの充電インフラ及びFCVの水素ステーションの整備推進等により、次世代自動車の更なる普及拡大を図る
- ドローンや空飛ぶクルマ等の開発・製造、特区制度の支援措置を拡大
- 医療・介護現場等の様々なニーズに応える医療機器・介護機器・福祉用具の開発・製造拠点となることを目指す

(3) 中堅・中小企業の振興

- 企業間のビジネスマッチングを支援する展示会や商談会など販路拡大に資する取組
- 航空宇宙産業においては、中堅・中小企業が連携した多工程一貫受注体制の整備による競争力の強化
- 新卒者や若手技術者などの人材不足解消のため、職場環境の改善や労働生産性の向上による給与所得向上など、魅力的な環境整備に取り組む



名古屋港におけるCNP形成の将来像【名古屋港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画より】

目標2-2 持続可能な産業の構築 【脱炭素化で世界をリードするとともに、レジリエンスの向上による持続可能な産業構造への転換を図る】

(4) 環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化

- 高度なものづくり産業が集積する中部圏と、高機能新素材産業やライフサイエンス産業などの特徴を有する北陸圏が、それぞれの強みを活かし産業連携を強化
- 産学官連携をさらに進化させることで、日本のまんなかである中部・北陸圏を世界規模でヒト、モノ、カネ、情報が活発に流れる、我が国の一大産業拠点へ発展させていく



東海北陸コンポジットハイウェイ構想
【中部圏広域地方計画(概要版)より】



コンポジットハイウェイコンソーシアム(ブース出展状況)
【中部経済産業局提供資料】

(5) 産業を担う人材の育成・確保

(人材育成・確保)

- 留学生を含めた大学と産業界を繋げる情報共有・マッチングの場づくり、日本語教育・学習支援の普及に向け、産学官等との連携・働きかけを強化
- 海外企業や高度人材にとって魅力ある受入環境の構築
- 海外留学の促進や国際化に対応した教育の推進、高等教育機関の教育・研究機能の充実
- 理工系人材・研究人材が研究に専念できる環境の整備、リカレント教育・リスキリングの機会増大

職人体験を通じて建設業の魅力を発信!



工業高校・専門学校の生徒を対象に建設専門工事業合同体験フェアを開催
【中部地方整備局資料】

(建設業・運輸業の担い手確保)

- 技術者や技能労働者が誇りを持てるよう処遇改善に向けた環境整備
- 物流の担い手不足解消や物流効率の向上
- 若者や女性が安心して入職し、生き甲斐を持って働くことができる環境を実現

●愛知県の「ものづくり産業」を維持・発展させていくため、県立高校においてSTEM【Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の4つの分野】に重点を置いた教育を推進。



あいち STEM ハイスクール研究指定事業

あいちSTEM教育推進事業
【愛知県提供資料】

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

【日本中央回廊の中心として、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり、我が国の成長を牽引する拠点となる】

- “日本のハートランド”として、日本中央回廊の効果を最大化
- 東西軸・南北軸の高規格道路ネットワークの形成・機能向上や鉄道駅等の拠点、港湾空港機能を強化
- 日本中央回廊の中心でアジアの成長を牽引できる大都市圏への進化

(1) 日本中央回廊の効果の最大化

～日本のハートランド・中部～

(都市圏の拡大・強化)

- 世界最強・最先端のものづくりを基軸に、リニア中央新幹線の高速性を活かし、我が国の成長の核(コア)を目指す
- リニア中央新幹線駅を核とした地域づくりに並行し、東海道新幹線駅など既存鉄道駅を拠点とした地域づくりの取組を推進

(交通ネットワーク強化)

- 既存のネットワークの拡充及びミッシングリンクとなっている交通軸を強化
- 東西軸、南北軸の高規格道路、東海道新幹線、リニア中央新幹線等の高速交通ネットワーク、国際拠点空港、港湾等との接続を強化



<中部圏の強み>日本の真ん中で交通の要衝
【国土審議会第8回計画部会 配布資料を基に作成】

(2) リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造

①国際競争力のある新たな圏域構造への転換

- 企業の本社機能、研究開発機能等の移転受入促進を図る
- 中間駅を核とした高速交通ネットワークの強化やテレワークの普及等を通じて、新たな暮らし方・働き方の先導モデルを形成

②リニア名古屋駅を核とした圏域づくり

- 名古屋大都市圏や中京大都市圏の各都市圏の強みや個性を活かした役割分担・連携により、社会的・経済的中枢圏としての魅力を増大させ中部圏を牽引

③リニア中間駅を核とした地域づくり

(リニア長野県駅)

- 航空宇宙産業集積地である名古屋大都市圏と伊那谷との連携を強化し、航空宇宙産業クラスターの形成を促進

(リニア岐阜県駅)

- 木曾地域、飛騨地域など、広域周遊型観光のエントランスとして国内外との交流人口の拡大

(リニア名古屋以西)

- 東京、名古屋、大阪の大都市圏から交流人口、関係人口の拡大を図り、国内外からのヒト、モノ、情報の交流を促進し、経済を活性化

④東海道新幹線沿線エリアの

新たなポテンシャルを活かした地域づくり

- 南北軸も含め、高速鉄道と空路、陸路、海路が一体となった高速交通ネットワークの構築により、リニア中央新幹線沿線地域との一体性を強化



<リニア>東海道新幹線沿線エリアの新たなポテンシャルの発揮
【リニア中央新幹線中間駅を核とする「新たな広域中核地方圏」の形成(令和5年7月)より】

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

【日本中央回廊の中心として、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり、我が国の成長を牽引する拠点となる】

(3) 交通ネットワーク強化による広域的波及

- 高規格道路の整備・機能強化、船舶大型化、港湾機能強化、国際拠点空港の機能強化等、基幹的なインフラ・ネットワークを拡充
- 中部国際空港や名古屋駅、リニア中間駅からシームレスに移動できる道路・鉄道や公共交通機関の複合的な交通網の充実強化

(名古屋駅のスーパーターミナル化)

- 中部圏最大のターミナル駅として、乗継利便性の向上や分かりやすさ、高速道路の結節性を高めたスーパーターミナル化
- 国際中枢都市の玄関口として、都心部の高次都市機能の集積と都市機能の強化・再編
- 防災機能を高めた賑わいのある商業空間や地下空間等魅力を感じる都市づくり
- コンベンション機能の充実など、ゲートウェイとしてのシンボリックな都市空間を形成する



名古屋駅駅前広場の再整備 ターミナルスクエアイメージ
【名古屋市HPより】

(中部国際空港の機能強化とアクセス強化)

- 我が国のエントランスとして、中部国際空港・名古屋駅間のシームレスでスピーディな移動環境を実現し両者の一体化を図る
- 航空需要を取り込むため、官民一体となってエアポートセールスを展開
- 完全24時間運用の実現により航空需要に柔軟に対応



中部国際空港滑走路増設事業
【国土交通省航空局資料(中部国際空港滑走路増設事業における新規採択時評価について)より】

(道路ネットワーク)

- リニア効果を広く中部圏や北陸圏に波及させていくため、高規格道路から生活道路に至る様々な道路ネットワーク強化を図る

(鉄道及び公共交通ネットワーク)

- 鉄道路線の機能強化、並びにリニア中間駅における、中央本線や飯田線といった在来線との結節性を高める
- 利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへの「リ・デザイン」(再構築)を進める

(4) 国際大交流時代を拓く観光・交流

①国際交流の窓口機能強化

- 国際交流拠点として、魅力創造・発信、MICE、コンベンション機能拡充強化を図る



第20回アジア競技大会PRポスター(スポーツビジュアル版)(左)

第5回アジアパラ競技大会PRポスター(右)

「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第5回アジアパラ競技大会」の開催に向けた準備【愛知県・名古屋市提供資料】

②国内外の観光・交流の促進

(観光産業の更なる進化)

- 宿泊施設や観光施設等の改修、廃屋撤去等のハード面、キャッシュレス化やシームレスな予約・決済可能な地域サイトの構築、顧客予約管理システム(PMS)の導入等、観光地における面的なDX化
- 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を契機に、スポーツツーリズムを推進する



2024年3月に魔女の谷が開園し、© Studio Ghibli 全5エリアがそろそろジブリパーク【愛知県提供資料】

(観光ルート・プロモーション)

- マルチモーダルな周遊ルートを作成し情報発信力を高めることで広域観光交流圏を構築

③中部圏・北陸圏の国際的な広域周遊ルート強化

- 中部・北陸エリアの様々な観光資源を磨き上げ、地域ならではの体験コンテンツやテーマ性・ストーリー性を持った広域周遊ルートの形成



清水港スペクトラム・オブ・ザ・シーズ寄港【中部地方整備局資料】

④クルーズの振興、普及

- 官民連携による国際クルーズ拠点の形成、多様化する訪日クルーズの需要に応じたクルーズ船受入環境整備、訪日クルーズ寄港促進の取組を推進

目標4-1 魅力ある地域資源の保全・活用【3,000m級の山々、川、海の恵みを楽しむ、保全活用する】

- 中部特有の山、川、海の恵みを楽しむ、自然環境と健全な生態系の保全・再生
- カーボンニュートラルの実現による持続可能な地域づくり、適切な国土保全の推進

(1) 自然環境と健全な生態系の保全・再生

(生物多様性)

- ・ ネイチャーポジティブに向けて、30by30 目標の実現
- ・ 森、里、川、海が連環した多様な植生や生態系の維持・保全、環境学習等の推進
- ・ ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出

(自然環境の保全・再生)

- ・ 多様な自然景観や農山漁村の景観、自然と調和する美しい景観を創造・保全
- ・ 山地から海岸まで総合的な土砂管理の推進
- ・ 浚渫土砂などの活用、漂流・漂着ゴミ、流木対策等による良好な海洋環境の保全・再生



・ 希少野生生物に関する講座の様子：出前講座
生物多様性の保全・再生普及啓発事業
【岐阜県提供資料(R4FU資料)】

(2) カーボンニュートラルの実現による持続可能な地域づくり

(カーボンニュートラル推進)

- ・ 住宅・建築物の省エネ化、木造建築物の普及拡大、まちづくりのグリーン化、自動車の電動化、船舶・航空・鉄道や港湾・空港など社会基盤の脱炭素化、交通GX、物流GX等の取組を推進
- ・ 農林水産業のグリーン化や、木材の利用拡大、木質バイオマスのエネルギー利用等を推進

(水質・大気環境等)

- ・ 河川等の水質や大気環境の保全、自然公園等の適正管理と利用促進等、官民連携で自然と共生
- ・ ブルーカーボンオフセット制度の活用等による環境保全活動の活性化
- ・ 多様な主体との連携・協働、住民参加による学習や行動への取組など、持続可能な社会を支える担い手づくり



木質バイオマス発電(美濃加茂バイオマス発電所)
【岐阜県提供資料】

タブレット学習の様子・環境学習講座の様子



「あいち環境学習プラザ」における環境学習
【愛知県提供資料】

(3) 適切な国土保全

①健全な循環型国土の構築

- ・ 森林の水源涵養機能、農地の雨水貯留機能等の維持・向上
- ・ 流域の総合的かつ一体的な管理による健全な水循環の維持又は回復に取り組む
- ・ 「伊勢湾再生推進会議」を中心に美しく健全な活力ある伊勢湾の再生を目指す
- ・ 山地から海岸まで総合的な土砂管理に関係機関が連携して取り組む

②物質循環の安定的確保による地域循環圏の形成

- ・ 資源は地域で循環、又は循環の環を広域化させる重層的な循環型地域づくり
- ・ 廃棄物適正処理のため、港湾などを活用した最終処分場の計画的に進める

③人口減少化における国土の利用・管理

(都市)

- ・ 所有者不明土地や空き地・空き家の対策として、発生予防や利活用、適正な管理などにより都市のスポンジ化を防ぐ

(農地)

- ・ 食料の安定供給に向け、優良農地の確保、耕作放棄地対策、荒廃農地の発生防止及び解消等
- ・ 農村景観を形成する地域資源を保全及び管理し、健全な国土を保全

(森林)

- ・ 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林を整備・保全
- ・ 間伐材などの木材利用促進、「緑の国土強靱化」を推進



総合的な土砂管理
【中部圏広域地方計画(概要版)より】



■三重県内での清掃活動状況

人と森・川・海のつながりを意識した伊勢湾再生の推進
【中部地方整備局資料】

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応

【南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、感染症などのリスクから地域をまもる】

- 甚大な被害が想定される南海トラフ地震に備えた国土の強靱化
- 激甚化する自然災害など、あらゆるリスクから地域を守る
- ネットワークの多重性・代替性の確保、インフラの維持・整備・活用により、直面する様々なリスクに対応
- 政府機能等の中核機能のバックアップに資する圏域を目指す

(1) 南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築

(南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の取組)

- 震源域一帯が同時、または半割れを想定し、「避難・防御」-「応急・復旧」-「復興」の各段階で、各機関が連携した防災・減災対策(産業の防災・減災力の強化、災害に強い物流システムの構築等、11課題)に取り組む

(国土交通省の取組)

- 「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画」「中部ブロック地域対策計画」に基づき、防災・減災対策に取り組む
- 港湾BCPの策定や「伊勢湾港湾広域防災協議会」を組織し広域に連携

(各県・市町村などの取組)

- 国土強靱化地域計画や地震津波対策アクションプラン等の策定、消防防災ヘリ・ドクターヘリの配備、広域防災拠点整備を推進

(南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築)

- 太平洋側と日本海側が一体、産学官民が一体となったハード・ソフト両面の総合的な防災・減災対策
- 速やかな復興を実現するため、あらかじめ復興計画への合意形成を図るなど、復興事業を円滑化する環境を整える



第14回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の様子
【中部地方整備局資料】

(2) 頻発化、激甚化する自然災害とあらゆるリスクへの対応

①自然災害等への対応

- 風水害、土砂災害、火山災害、渇水、雪害など自然災害に多重防御や粘り強い施設整備、迅速な復旧・復興など先進的に推進
- 中部圏に隣接する北陸圏、東北圏等との圏域を跨ぐ流域全体で、水害リスクに対応
- 道路防災対策や豪雪地域における雪害対策、重要交通網を保全する土石流対策・地すべり対策
- 盛土等に伴う災害を防止、安全性の確保
- 地域特性に応じた災害リスクの評価や災害発生時の的確な情報伝達、警戒避難体制の整備
- タイムラインの策定、各種ハザードマップなどの周知、安全な地域への居住誘導などを推進
- 要配慮者が安全に避難できる環境整備を推進



流域治水の推進【第三次国土形成計画(全国計画)参考資料より】

②都市の防災・災害対策の推進

- 都市の防災機能の強化や地下街の耐震化などの地下空間の安全性確保、内水対策など都市型水害への対策、海拔ゼロメートル地帯における高潮対策などに取り組む
- 各自治体において被災前から復興まちづくりに関する検討や体制を強化
- 帰宅困難者対策や住民、来訪者の避難誘導體制等の整備に取り組む



ゼロメートル地帯における
浸水対策を備えた
広域的な防災活動拠点整備
【愛知県提供資料】

③産業の防災力強化

- 関連施設等の耐災害性の強化や面的なBCP、サプライチェーンの複線化や部品などの代替性確保
- セキュリティ人材の育成や中小企業のセキュリティシステムの導入、サイバーセキュリティを強化

④広域的な連携による支援体制の強化

- 大規模な広域防災拠点、圏域を越えた救援活動や支援を相互に行う体制を構築
- 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の機能強化
- 活動拠点となる官庁施設等の耐震・液状化対策の強化

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応

【南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、感染症などのリスクから地域をまもる】

(3) ネットワークの多重性・代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化

(ネットワークの多重性・代替性)

- 大規模災害における太平洋側と日本海側の2面活用を想定した広域バックアップ体制のため、広域交通ネットワークを拡充
- 高速道路や高速鉄道の東西軸の多重化、日本海沿岸と連結した南北軸、それらを結ぶ環状軸、半島地域へのリダンダンシー機能を確保する軸を有機的に結ぶ基幹ネットワークの強化
- 緊急輸送道路ネットワークの整備・橋梁の耐震化
- 中部圏と北陸圏の空港・港湾がその代替機能を補完、強化、多種の交通モードの交通機能により東西、南北に二重、三重にネットワークを構築

(首都圏バックアップ体制の強化)

- 国土全体で人口や諸機能が分散的に配置される国土構造の実現のため、首都直下地震などにより首都機能が麻痺した場合、中部圏がバックアップ機能を果たす
- 名古屋城三の丸地区において、災害時のオペレーション機能充実を含めた持続可能で魅力的なまちづくりに取り組む



中部・北陸の主な道路ネットワークと谷筋(河川)
【中部地方整備局資料(令和5年9月作成)】

(4) インフラの維持・整備・活用

①戦略的なメンテナンスの推進

(予防保全型メンテナンスへの転換)

- インフラ長寿命化計画を策定し、予防保全型メンテナンスに転換した戦略的なメンテナンスに取り組む
- 関係機関が連携し大型車両の通行の適正化に取り組む

(地方自治体との一体的推進)

- インフラメンテナンスの効率的、効果的な体制を確保する「インフラメンテナンス国民会議」による取組等を推進
- 市町村自らの体制の強化を図るとともに、国・県等による技術的支援体制を構築

(産学官の連携)

- 産学官のリソース(予算・人材・技術)を投入し、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し継続的に発展

②地域の守り手としての建設業の強化

- 建設現場の生産性向上による建設業の働き方改革、担い手確保・育成、中小建設企業への普及支援
- ICT建設機械等の活用やICT施工に係る人材育成プログラム導入など、i-Construction、インフラDXを推進
- 処遇改善、工期の適正化や施工時期の平準化、若者や女性が活躍できる環境を整備

●地域の魅力ある現場で高校生が自ら計画立案し、自らの手で構造物等を造り上げることで、建設産業の魅力や実践的なものづくりの達成感を体感してもらうとともに技術力の向上を図るための学びと働きを連携させた取組。



建設技術実践プロジェクト事業(旧:自分たちでつくるプロジェクト)
【長野県提供資料】